

山崎断層周辺の石の密度（2）

Density of Stones around Yamasaki Fault, Western Japan. (2)

○竹内文朗・中村佳重郎・松村一男・渡辺邦彦
Fumiaki TAKEUCHI, Kajuro NAKAMURA, Kazuo MATSUMURA and Kunihiko WATANABE

我々はこれまで山崎断層の重力探査を行い、その結果断層付近でのブーゲー異常が高いことを示した。この解析に伴ない、地形補正のために、実際に存在する岩石の密度を調べることを行った。その結果、断層付近では比較的密度の高い岩石が存在し、これを用いて高密度岩石の深さを計算した。これにより、密度の高い岩石は浅ければ数百mから場所によって数kmまで存在することが判った。これまでには岩石を採集した地域が比較的断層に沿った領域に限られていたので、さらに広く全体をカバーする場所からも採集した。

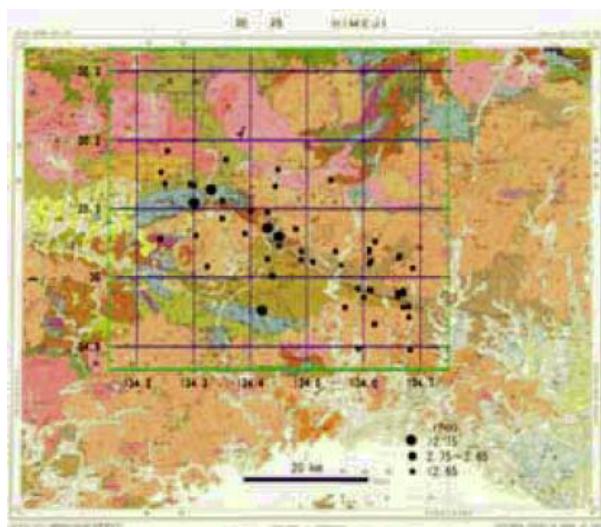


Fig. 1. 観測点分布と、得られた密度値



Fig. 2. 採用した岩石の密度測定状況



Fig. 3. 岩石採用の一例

Fig. 1. に、1988, 2002, 2003 年に採集した石の位置を示す。その密度測定の様子を Fig. 2. に示す。採集は山崎断層にそな西北西—東南東が主で、これを南北に補っている。結果は大勢として断層に沿うラインで石の密度が高い傾向がある。これは、今までに報告してきた結果と矛盾していない。